



平成30年8月15日

各 位

会社名 株式会社アクトコール
代表者名 代表取締役社長 平井 俊広
(コード番号 6064 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 菊井 聡
(TEL 03-5312-2303)

(訂正) 「平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年7月9日に開示いたしました「平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年8月15日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出および過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月9日

上場会社名 株式会社アクトコール 上場取引所 東
 コード番号 6064 URL https://www.actcall.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平井 俊広
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 菊井 聡 TEL 03-5312-2300
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年11月期第2四半期 | 877 | 1.5 | 32 | △81.2 | 25 | △85.3 | 6 | △91.6 |
| 24年11月期第2四半期 | 864 | — | 171 | — | 171 | — | 72 | — |

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 6百万円 (△92.8%) 24年11月期第2四半期 △72百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年11月期第2四半期 | 5.26 | 4.98 |
| 24年11月期第2四半期 | 65.45 | — |

(注) 平成24年11月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年11月期第2四半期 | 3,261 | 476 | 14.6 |
| 24年11月期 | 1,948 | 469 | 24.1 |

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 476百万円 24年11月期 469百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年11月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 25年11月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 25年11月期 (予想) | | | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,150 | 25.0 | 296 | 2.0 | 276 | 0.1 | 179 | 45.1 | 145.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社インサイト、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年11月期2Q | 1,230,800株 | 24年11月期 | 1,230,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年11月期2Q | 43株 | 24年11月期 | 43株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年11月期2Q | 1,230,757株 | 24年11月期2Q | 1,106,400株 |

（注）平成24年2月28日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割しており、平成24年5月18日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。そのため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) セグメント情報等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞から回復の兆しが見られるものの、欧州債務問題の深刻化や長期化する円高の影響による企業業績の下振れ懸念、更には電力供給の制約、原子力災害の影響、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念等が依然として残っており、先行きには注意が必要な状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループは、新規提携不動産会社獲得のための活動や月額制サポートサービスの拡販強化を行ったものの、競合他社の攻勢や一部案件による期ずれ等の影響により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高877,150千円（前年同期比1.5%減）、営業利益32,382千円（同81.1%減）、経常利益25,259千円（同85.3%減）、四半期純利益6,476千円（同91.1%減）となりました。

当社グループは不動産関連事業として単一セグメントをとっておりましたが、前連結会計年度から開始した不動産総合ソリューション事業の重要性が増したことによりセグメントの区分方法の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を住生活関連総合アウトソーシング事業、不動産総合ソリューション事業に変更いたしました。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社インサイトの全株式を取得し、連結子会社としたことにより、新たなセグメントの区分として、家賃収納代行業業を追加しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前年同期比は、前年同四半期の業績を変更後のセグメント区分に組み替えて算出しております。

(住生活関連総合アウトソーシング事業)

住生活関連総合アウトソーシング事業においては、緊急駆けつけ等会員制サービス、コールセンターサービス、その他住生活に関わるサービスの開発、提供を行っております。

会員制サービスにおいては、月額制のサポートサービスとして新たに家財保険付サービスの提供を開始したことも影響し、サービス導入不動産会社数が堅調に推移しましたが、競合他社による攻勢等もあり、新規獲得会員数は61千人に留まり、同四半期会計期間末時点の累計有効会員数は342千人となりました。また、コールセンターサービスにおいては、不動産会社向けアウトソーシングサービス「アクシスライン24」の新規受託社数が堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は839,893千円（前年同期比2.3%減）、営業利益は47,176千円（同68.3%減）となりました。

(不動産総合ソリューション事業)

不動産総合ソリューション事業においては、テナント出店代行サービス、セミナー開催等の独立開業等支援サービス、さらには不動産ファンドへの投資やそれに関わるサブリースやPM業務等不動産に関連する様々なサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、第1四半期連結会計期間に引き続き、今後の事業成長のための種まきに主眼を置き、テナント出店代行サービス「Tenant+（テナントプラス）」における加盟店満足度向上のためのサービスリニューアルに注力いたしました。また、当第2四半期連結会計期間に計上を予定しておりました不動産投資案件の売却時期にずれが生じることとなりました。

以上の結果、不動産総合ソリューション事業の売上高は37,257千円（同13.4%減）、営業損失は24,301千円（前年同期は22,003千円の営業利益）となりました。

(家賃収納代行業業)

家賃収納代行業業は、当第2四半期連結会計期間において連結子会社となった株式会社インサイトにおける事業となります。なお、当第2四半期連結累計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には含めておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,261,933千円となり、前連結会計年度末に比べ1,313,277千円増加しました。流動資産は2,412,093千円（前連結会計年度末比837,170千円増）となりました。主な増加原因は現金及び預金163,665千円、未収入金297,320千円、立替金398,587千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。また固定資産は849,839千円（前連結会計年度末比476,106千円増）となりました。主な増加原因はのれんが313,576千円、ソフトウェア仮勘定63,000千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、これら資産の増加の主な要因は当第2四半期連結会計期間より株式会社インサイトを連結子会社としたことによるものであります。

(負債の部)

負債につきましては、2,785,459千円となり、前連結会計年度末に比べ1,306,566千円増加しました。流動負債は2,025,592千円（前連結会計年度末比882,489千円増加）となりました。主な増加原因は短期借入金500,000千円、1年以内返済予定長期借入金114,329千円、預り金327,215千円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。また固定負債は759,866千円（前連結会計年度末比424,077千円増）となりました。主な増加原因は長期借入金420,010千円増加したことなどによるものであります。

なお、これら負債の増加の主な要因は当第2四半期連結会計期間より株式会社インサイトを連結子会社としたことによるものであります。

(純資産の部)

純資産につきましては、476,474千円（前連結会計年度末比6,711千円増）となりました。主な増加要因は利益剰余金が6,476千円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,056,155千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、58,434千円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益25,259千円の計上、減価償却費27,940千円の非現金支出費用などがあった一方で、売上債権の増加額30,064千円や前受収益の減少額84,985千円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、463,275千円となりました。これは、主に定期預金の預入による支出101,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出253,927千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は、534,339千円となりました。これは、主に長期借入れによる収入580,000千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の通期の連結業績予想につきましては、本日（平成25年7月9日）公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社インサイトの全株式を取得したことにより、第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 993,490 | 1,157,155 |
| 売掛金 | 39,550 | 69,615 |
| 未収入金 | 72,667 | 369,988 |
| 商品 | 670 | 479 |
| 貯蔵品 | 2,109 | 1,977 |
| 前払費用 | 47,338 | 53,344 |
| 繰延税金資産 | 347,571 | 324,843 |
| 差入保証金 | 23,500 | 23,500 |
| 立替金 | 186 | 398,773 |
| その他 | 50,109 | 14,319 |
| 貸倒引当金 | △2,272 | △1,903 |
| 流動資産合計 | 1,574,922 | 2,412,093 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 39,195 | 62,041 |
| 減価償却累計額 | △12,915 | △15,180 |
| 建物及び構築物(純額) | 26,279 | 46,860 |
| 車両運搬具 | 15,566 | 15,566 |
| 減価償却累計額 | △8,383 | △9,881 |
| 車両運搬具(純額) | 7,183 | 5,685 |
| 工具、器具及び備品 | 71,389 | 127,322 |
| 減価償却累計額 | △49,790 | △71,318 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 21,599 | 56,004 |
| 有形固定資産合計 | 55,062 | 108,550 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 313,576 |
| ソフトウェア | 88,158 | 99,793 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 63,000 |
| 無形固定資産合計 | 88,158 | 476,370 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 69,348 | 69,978 |
| 出資金 | 540 | 550 |
| 長期貸付金 | — | 15,000 |
| 長期前払費用 | 7,718 | 7,025 |
| 敷金及び保証金 | 41,054 | 61,489 |
| 繰延税金資産 | 104,062 | 103,087 |
| その他 | 7,788 | 7,788 |
| 投資その他の資産合計 | 230,512 | 264,918 |
| 固定資産合計 | 373,733 | 849,839 |
| 資産合計 | 1,948,656 | 3,261,933 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 45,194 | 52,141 |
| 未払金 | 73,614 | 61,658 |
| 未払費用 | 8,362 | 12,743 |
| 短期借入金 | — | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 33,324 | 147,653 |
| 未払法人税等 | 2,675 | 6,302 |
| 未払消費税等 | 11,573 | 2,403 |
| 前受金 | 9,907 | 14,782 |
| 前受収益 | 917,184 | 845,970 |
| 預り金 | 13,625 | 340,841 |
| 賞与引当金 | — | 11,235 |
| その他 | 27,640 | 29,861 |
| 流動負債合計 | <u>1,143,103</u> | <u>2,025,592</u> |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 61,122 | 481,132 |
| 長期前受収益 | 274,667 | 260,900 |
| 退職給付引当金 | — | 15,934 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 1,900 |
| 固定負債合計 | <u>335,789</u> | <u>759,866</u> |
| 負債合計 | <u>1,478,893</u> | <u>2,785,459</u> |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 282,609 | 282,609 |
| 資本剰余金 | 220,940 | 220,940 |
| 利益剰余金 | <u>△33,748</u> | <u>△27,272</u> |
| 自己株式 | △75 | △75 |
| 株主資本合計 | <u>469,724</u> | <u>476,201</u> |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38 | 272 |
| その他の包括利益累計額合計 | <u>38</u> | <u>272</u> |
| 純資産合計 | <u>469,763</u> | <u>476,474</u> |
| 負債純資産合計 | <u>1,948,656</u> | <u>3,261,933</u> |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 864,202 | 877,150 |
| 売上原価 | 354,452 | 422,849 |
| 売上総利益 | 509,749 | 454,301 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 38,400 | 51,360 |
| 給料 | 77,712 | 108,219 |
| 賞与 | 12,902 | 9,310 |
| 法定福利費 | 15,008 | 19,729 |
| 地代家賃 | 14,276 | 19,325 |
| 減価償却費 | 19,317 | 17,098 |
| 貸倒引当金繰入額 | 525 | — |
| 旅費及び交通費 | 23,143 | 28,787 |
| 支払手数料 | 8,266 | 14,194 |
| 顧問料 | 25,854 | 35,565 |
| 販売促進費 | 38,554 | 18,687 |
| 消耗品費 | 3,171 | 5,355 |
| その他 | 61,028 | 94,287 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 338,161 | 421,919 |
| 営業利益 | 171,588 | 32,382 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 91 | 1,064 |
| 受取配当金 | 18 | 39 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 401 |
| 雑収入 | 1 | 197 |
| 営業外収益合計 | 112 | 1,703 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 3,225 |
| 支払手数料 | — | 5,600 |
| 雑損失 | 48 | — |
| 営業外費用合計 | 48 | 8,825 |
| 経常利益 | 171,651 | 25,259 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 171,651 | 25,259 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 151,037 | 406 |
| 法人税等還付税額 | — | △5,182 |
| 法人税等調整額 | △51,800 | 23,559 |
| 法人税等合計 | 99,236 | 18,783 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 72,415 | 6,476 |
| 四半期純利益 | 72,415 | 6,476 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 72,415 | 6,476 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △7 | 234 |
| その他の包括利益合計 | △7 | 234 |
| 四半期包括利益 | 72,408 | 6,711 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 72,408 | 6,711 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 171,651 | 25,259 |
| 減価償却費 | 33,065 | 27,940 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 525 | △401 |
| 受取利息及び受取配当金 | △110 | △1,103 |
| 支払利息 | — | 3,225 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △30,555 | △30,064 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △291 | 323 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △59,185 | 6,946 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △15,549 | 5,837 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △6,115 | 4,598 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 14,834 | △10,585 |
| 前受収益の増減額 (△は減少) | 140,794 | △84,985 |
| その他 | 19,611 | △6,775 |
| 小計 | 268,675 | △59,785 |
| 利息及び配当金の受取額 | 110 | 1,008 |
| 利息の支払額 | — | △3,736 |
| 法人税等の支払額 | △83,488 | — |
| 法人税等の還付額 | — | 4,078 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 185,297 | △58,434 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △101,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △12,988 | △65,555 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △14,676 | △6,775 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △316 | △251 |
| 出資金の払込による支出 | △30 | △10 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △253,927 |
| 貸付けによる支出 | — | △15,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △20,755 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,112 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,899 | △463,275 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | — | 580,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △45,661 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | — | 534,339 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 159,397 | 12,629 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 863,645 | 1,043,525 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,023,043 | 1,056,155 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年5月31日）

当社グループは、不動産関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年12月1日 至平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|--------------------------|---------------------------|------------------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 住生活関連総合 アウトソーシン グ事業 | 不動産総合ソ リューション 事業 | 家賃収納代行 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 839,893 | 37,257 | — | 877,150 | — | 877,150 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 300 | — | — | 300 | △300 | — |
| 計 | 840,193 | 37,257 | — | 877,450 | △300 | 877,150 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 47,176 | △24,301 | — | 22,874 | 9,507 | 32,382 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額9,507千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 家賃収納代行事業は、当該事業を営む新規連結会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としており、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度から開始した不動産総合ソリューション事業への重要性が高まったことに伴い、改めてセグメントの区分方法の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから住生活関連総合アウトソーシング事業、不動産総合ソリューション事業に変更しております。

さらに当第2四半期連結会計期間においては、株式会社インサイトを当社の連結子会社とし、報告セグメント「家賃収納代行業」を新たに追加しております。

なお、前年同四半期連結累計期間のセグメント情報は、当四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------------|------------------------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 住生活関連総合 アウトソーシン グ事業 | 不動産総合ソ リューション 事業 | 家賃収納代行 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 821,202 | 43,000 | — | 864,202 | — | 864,202 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 821,202 | 43,000 | — | 864,202 | — | 864,202 |
| セグメント利益 | 148,784 | 22,003 | — | 170,787 | 800 | 171,588 |

(注) 1. セグメント利益の調整額800千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。